

## 事業報告

### I 事業の概況

本公益財団法人は、岡山県における理工学に関する研究を振興するとともに、先端技術の向上を目指した大学と産業界等との連携を図り、もって学術及び技術開発の進展に寄与することを目的として以下の事業を実施した。

#### 1 事業の実施状況

##### 1. 学術研究助成事業

公益目的事業1（岡山県内における理工学に関する学術研究の助成事業）に掲げる事業は次により行った。

###### (1) 事業の目的

岡山県内における理工学に関する学術研究を助成し、その振興を図ることにより、先端科学技術の向上を目指し、広く科学技術社会の発展に寄与することを目的とする。

###### (2) 事業の概要

###### イ) 学術研究助成の対象

理工学の学術分野の基礎及び応用研究であって、研究者が1人で行うもの、または2人以上の研究者が同一の研究課題について共同で行うもの。

###### ロ) 研究助成の種目と助成額

###### A) 内山勇三科学技術賞

内山工業(株)元会長故内山勇三氏の寄附金により設けたもので、特色ある先導的な研究を対象とする。

2件	1件	200万円	400万円
----	----	-------	-------

###### B) 岡山工学振興会科学技術賞

一般研究 特色ある研究を格段に発展させるための研究を対象とする。

3件	1件	70万円	210万円
----	----	------	-------

奨励研究 37才以下の研究者が主体的に行う研究で、将来の発展が期待できる優れた着想を持つ研究を対象とする。

4件	1件	37.5万円	150万円
----	----	--------	-------

###### ハ) 募集方法

岡山県内の大学理工系学部及び高専、研究機関に3月初旬公募要項を配布（財団ニュース108号及び財団ホームページに掲載）4月21日に締切った。

二) 選考方法

研究分野による専門委員の選考と併せ選考委員会において選考した。

ホ) 研究助成応募状況

種 別		応募数	採択数	採択率	備考
内山勇三科学技術賞	特別研究	5 件	2 件	40 %	
岡山工学振興会科学技術賞	一般研究	27	3	11	
	奨励研究	9	4	44	
計		41	9	22	

(3) 研究助成採択課題と研究代表者

種 別	所属機関・職	氏 名	研 究 題 目	助成額 万円
内山勇三 科学技術賞 特別研究	岡山大学 異分野基礎科学研究所 (理学部) 教授	西原 康師	高性能な有機半導体を指向した $\pi$ 共役分子の設計、合成、機能解明	200
	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学系) 准教授	植田 浩史	高勾配磁気分離を利用した医薬 用タンパク質精製装置の開発	200
岡山工学 振興会 科学技術賞 一般研究	岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 (薬学部) 准教授	神野伸一郎	顕微鏡フリー可視化を指向した 次世代型蛍光イメージング薬剤 の開発	70
	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学系) 准教授	松野 隆幸	自律ロボットマニピュレータに よる線状不定形物体の結び動作 の実現	70
	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学系) 准教授	光藤 耕一	複数のヘテロ原子を含む新奇機 能性有機分子群の合成とその物 性の解明	70
小西記念 奨励賞 奨励研究	岡山大学 異分野基礎科学研究所 (理学部) 准教授(特任)	堀金 和正	中性子線を用いた鉄系超伝導メ カニズムの解明-次世代超伝導線 材の可能性-	37.5
岡山工学 振興会 科学技術賞 奨励研究	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学系) 助教	堺 健司	電流が作る磁場解析による局所 領域の電気化学インピーダンス 評価	37.5
	岡山大学大学院 自然科学研究科 (工学系) 助教	浅子 壮美	不活性結合の連続切断を活用す る有機合成	37.5
	岡山大学大学院 環境生命科学研究科 (農学部) 助教(特任)	根本 理子	環境負荷の小さいセラミックス 微細加工技術の開発を指向した バイオシリカ構造制御分子の同 定	37.5

## 2. 国際研究集会等派遣の助成

公益目的事業2（国外で開催される国際研究集会等派遣の助成事業）に掲げる事業は次により行った。

### (1) 事業の目的

岡山県内の大学及び研究機関等の優れた研究者等を、国外で開催される理工学分野の先端技術に関する研究集会に派遣することにより、その専攻する学術研究成果についての発表、情報収集、交換等の活動を援助することを目的とする。

### (2) 助成対象の研究集会

外国で開催される国際研究集会で国際的に権威のある学会、学術団体、又は学術研究機関等が主催するもの。

### (3) 国際研究集会等派遣助成実績

次の国際研究集会5件に対し、70万円の助成を行った。

部局	職	氏名	研究集会名	開催地
岡山大学大学院 自然科学研究科	助教	高橋 明子	米国電気電子学会主催第12回パワーエレクトロニクスとドライブシステムに関する国際会議	アメリカ ホノルル
岡山大学大学院 自然科学研究科	技術専門 職員	米田 美佳	第7回アジア粉体工学シンポジウム	台湾 桃園市
岡山大学異分野 基礎科学研究所	助教 (特別契約)	増田 孝彦	2017 米国電気電子学会主催 原子核と医療イメージングに関する国際会議	アメリカ アトランタ
岡山県立大学 情報工学部	助教	滝本 裕則	第19回人とコンピュータのインタラクションに関する国際会議	カナダ バンクーバー
津山工業 高等専門学校 総合理工学科	准教授	香取 重尊	The 2017 MRS Fall Meeting and Exhibit	アメリカ ボストン

## 3. 学術研究集会、学術講演会の助成

公益目的事業3（岡山県内で開催される学術研究集会及び学術講演会の助成事業）に掲げる事業は次により行った。

### (1) 事業の目的

岡山県内で開催される理工学に関する学術研究集会、学術講演会等に対し、その開催経費の一部を補助し、研究活動を支援することを目的とする。

### (2) 助成対象の研究集会

イ) 学協会及びその支部が主催するもの。

岡山県内で開催される学会、シンポジウム、研究会、講演会、公開セミナー講習会等。

ロ) 公知された懇話会、研究会等が主催するもの。

ハ) 財団が認める組織が主催するもの。

(3) 学術研究集会、学術講演会の助成実績

次の研究集会 13 件に対して、56 万円の助成を行った。

研究集会名	主催団体	世話人
第 23 回日本遺伝子細胞治療学会	第 23 回日本遺伝子細胞治療学会	岡山大学 那須 保友
日本機械学会中国四国支部 2017 年度技術フォーラム	日本機械学会中国四国支部	岡山大学 大橋 一仁
2017 年度電気化学会関西支部岡山地区講演会	公益社団法人電気化学会関西支部	岡山大学 林 秀考
岡山発情報通信シンポジウム～高度 ICT 社会を開花させるビッグデータとサイバーセキュリティ～	岡山発情報通信シンポジウム実行委員会	岡山大学 横平 徳美
2017 年度 JCOM 若手シンポジウム	日本材料学会(日本材料学会複合材料部門委員会)	岡山大学 小武内清貴
日本実験力学会 2017 年度年次講演会	日本実験力学会	岡山理科大学 清水 一郎
日本生産管理学会中国・四国支部 支部研究会	日本生産管理学会 中国・四国支部	岡山大学 柳川 佳也
型技術ワークショップ 2017in 岡山	一般社団法人型技術協会	岡山大学 岡田 晃
第 7 回潜熱工学シンポジウム	日本潜熱工学研究会	岡山大学 山田 寛
先進加工技術懇話会 第 88 回例会	先進加工技術懇話会	岡山大学 篠永 東吾
第 17 回アジアバイオセラミックス会議 第 21 回生体関連セラミックス討論会 合同開催	第 17 回アジアバイオセラミックス会議実行委員会 主催 第 21 回生体関連セラミックス討論会 生体関連材料部会 共催	岡山大学 早川 聡
日本経営工学会中国四国支部 第 44 回学生論文発表会	(公財)日本経営工学会 中国四国支部	岡山大学 有菌 育生
電子情報通信学会 環境電磁工学研究会	電子情報通信学会 環境電磁工学研究専門委員会	岡山大学 豊田 啓孝

4. 産学官連携事業の助成

公益目的事業 4 (岡山県内における理工学に関する産学官連携研究会の助成事業) に掲げる事業は次により行った。

(1) 事業の目的

岡山県内の大学、研究機関、企業、行政等で構成される理工学に関する研究会等に対し、その経費の一部を補助し、研究活動及び産学官連携の促進を支援することを目的とする。

(2) 助成対象の研究会等

財団が設置を認めた産学官連携研究会等

(3) 産学官連携研究会等の助成実績	5 件	21 万円
岡山新材料技術融合フォーラム		7 万円
C5ケミカル新技術研究会		2 万円
「機能性ナノ複合材料」科学・技術研究フォーラム		2 万円
岡山振動音響技術研究会		8 万円
バイオジナスマテリアル機能化研究会		2 万円

#### 5. 学術交流推進助成事業

公益目的事業5（岡山県内における理工学に関する学術交流推進事業の助成）に掲げる事業は次により行った。

##### (1) 事業の目的

岡山県内における理工学に関する学術研究を助成し、その振興を図ることにより、先端科学技術の向上を目指し、広く科学技術社会の発展に寄与することを目的とする。

##### (2) 事業の概要

学術交流推進助成の対象

種 別	所属機関・職	氏 名	研 究 題 目	助成額
学術交流 推進事業	岡山大学 教授	藤井 正浩	粘弾性材料の摩擦低減に関する研究	50 万円
	岡山大学 特任教授	高田 潤	機能性材料の開発	125
	岡山大学 教授	藤井 達生	磁性酸化鉄材料の研究開発	30
	岡山大学 特任教授	尾坂 明義	新規歯科用セラミックスの開発	70
	川崎医科大学 特任教授	加来 浩平	血管内皮細胞生理活性因子による内臓肥満抑制の分子基盤解明と新規治療法の探索	100
	川崎医科大学 教授	原 浩貴	鼻呼吸障害が睡眠中の呼吸機能に及ぼす影響に関する研究	170
	岡山大学 准教授	岡本 康寛	レーザー加工の高機能化に関する研究開発	100
	岡山大学 准教授	仁科 勇太	機能性炭素マテリアルの研究開発	50
	岡山県立大学 教授	佐藤洋一郎	医用画像における血管径可視化システムの開発	20
	計			9 件

#### 6. 学術的研究成果並びに先端学術情報等の普及の促進

定款第4条(3)(成果の普及)(4)(情報の収集及び提供)に掲げる事業は次により行った。

- (1) 学術的研究成果及び学術情報の普及  
学術研究助成者による講演会を開催。

岡山大学工学部研究年報、(公財)岡山工学振興会ニュースを企業に提供。  
ホームページ (URL: <http://ofst.or.jp/>) に掲載

- (2) ANNUAL REPORT OF THE OKAYAMA FOUNDATION FOR SCIENCE AND TECHNOLOGY  
(公財)岡山工学振興会年報の発行と配布  
学術研究助成者の研究成果報告等の報告にもとづき、ANNUAL REPORT を毎年発行し、県内の大学、研究機関及び企業に配布した。

#### 7. 地域企業等との連携・交流事業

定款第4条(5)(6)(連携・交流)に掲げる事業は次により行った。

- (1) 岡山新材料技術融合フォーラムの開催
- (2) C5ケミカル新技術研究会おもしろ体験でえーの開催
- (3) 機能性ナノ複合材料科学・技術研究フォーラムの開催
- (4) 岡山振動音響技術研究会の開催
- (5) バイオジナスマテリアル機能化研究会の開催
- (6) 「ほっと交流会」の開催

#### 8. 寄附金に関する事項

寄附の目的	寄 附 者	申込金額	領収金額	備考
学術研究助成	内山工業(株)	万円 50	万円 50	
	戸田工業(株)	50	50	
	DOWA エフテック(株)	30	30	
	(株)ジーシー研究所	70	70	
	(医)赤穂中央病院	100	100	
	(医)赤穂中央病院	50	50	
	(株)片岡製作所	100	100	
	(有)トラスティクルー	50	50	
	(有)オービット	20	20	
	池田食研(株)	50	50	
	(株)山口土木	25	25	
	(医法社)星野耳鼻咽喉科	100	100	
	(社医法)全仁会	20	20	
	寺田薬泉工業(株)	50	50	
	小西忠孝	72.692	72.692	
	合 計	837.692	837.692	

2 重要な契約に関する事項

「該当なし」

3 正味財産増減の状況及び財産の状況

(単位：万円)

	平成 26 年 3 月期	平成 27 年 3 月期	平成 28 年 3 月期	平成 29 年 3 月期
経常収益合計	2,994	3,536	3,329	2,512
経常費用合計	3,654	2,908	3,298	2,646
当期正味財産増減額	1,955	8,591	△4,015	884
資産合計	43,229	51,863	47,891	48,818
負債合計	337	380	423	465
正味財産	42,892	51,483	47,468	48,353

II 法人の課題

「該当なし」

III 理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

監事 2 名を置いて、理事の職務執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成することとしている。

IV 株式保有している場合の概要

内山工業株式会社株券を研究助成基金として寄附を受け、その運用益を公益事業の財源として使用している。

V 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実

「該当なし」

## 事業報告の附属明細書

- 1 定款に定める事業内容について補足すべき重要な事項  
「該当なし」
- 2 事業の状況について補足すべき重要な事項
  - (1) 岡山県内における理工学に関する学術研究の助成事業  
理工学分野の基礎及び応用研究であって、研究者が単独又は複数の研究者が同一の研究課題について共同で行うものを助成対象とする
  - (2) 国外で開催される国際研究集会等派遣の助成事業  
外国で開催される理工学分野の先端技術に関する国際研究集会で、国際的に権威のある学会、学術団体又は学術研究機関等が主催するものを助成対象とする
  - (3) 岡山県内で開催される学術研究集会及び学術講演会の助成事業  
岡山県内の理工学の発展と先端技術の向上に寄与する先端技術に関する学術研究集会を助成対象とする
  - (4) 岡山県内における理工学に関する産学官連携研究会の助成事業  
理工学分野の基礎及び応用研究に従事している研究者又は研究グループで岡山県下の大学、高専、公的研究機関、行政及び企業に所属する者で構成された研究会を助成対象とする
  - (5) 岡山県内における理工学に関する学術交流推進事業の助成  
岡山県内の研究機関等に所属する研究者等で、理工系の基礎及び応用研究又はこれらに関わる学術集会等を助成対象とする
- 3 許認可について補足すべき事項  
「該当なし」
- 4 事業の実施状況についての補足すべき事項  
「該当なし」
- 5 役員会等に関する補足すべき事項  
「該当なし」
- 6 正味財産増減の状況並びに財産の増減の推移についての補足すべき事項  
「該当なし」